



政夫と民子像 (伊藤左千夫記念公園)

先人たちの

足跡を

訪ねて

太陽と太平洋 の体験隊

1908年の創刊から長きにわたり日本の短歌会をリードした「アララギ(当初、阿羅々木)」。創刊時の主要メンバーは、山武に生まれ育った伊藤左千夫と蕨真でした。優れた歌人だった左千夫は、牧歌的な純愛小説『野菊の墓』を発表。その歌や小説からは、故郷の豊かな自然の匂いが香り立ってくるようです。

他にも童謡「里の秋」などの作詞で知られる斎藤信夫、成田山の発展に尽くした荒木照定、日本農業の発展に尽力した牧野萬右衛門、総武線の開通に全精力を傾けた安井理民ら、ふるさと山武を愛し、力を尽くした偉人を数多く生んでいます。



蕨真(本名:真一郎)



斎藤信夫歌碑(成東城跡公園)



伊藤左千夫生家にて



蕨真が座興に歌を書き付けた扇子

蕨真の歌集「林間集」